



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京會館
コード番号 9701 URL <http://www.kaikan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 訓章

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 蛭原 望

TEL 03-3215-2111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,426	△7.6	△283	—	△266	—	△282	—
29年3月期第1四半期	1,543	0.4	△308	—	△295	—	△303	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△84.52	—
29年3月期第1四半期	△90.88	—

(注)当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,506	7,034	67.0
29年3月期	10,596	7,200	68.0

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 7,034百万円 29年3月期 7,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,550	△10.5	△860	—	△890	—	△910	—	△272.32
通期	5,400	△8.2	△1,460	—	△1,500	—	100	△29.6	29.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	3,463,943 株	29年3月期	3,463,943 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	122,387 株	29年3月期	122,302 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	3,341,579 株	29年3月期1Q	3,342,140 株

平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の我が国経済は、個人所得の緩やかな回復とともに消費マインドが持ち直すなど改善傾向がみられましたが、米国の政策動向や中国経済の先行きが懸念される状況が依然続くなかで推移しました。

このような状況のなか、建替えのために本館休業中の当社は、本館および昨年10月に東京銀行協会ビル建替えに伴い閉店した銀行倶楽部のお客様を、既存の営業所へ最大限誘致するとともにケータリングの拡充を図るなど、営業所の営業力・集客力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、既存営業所の売上高は前年同四半期比1.8%増加しました。しかしながら昨年10月の銀行倶楽部閉店による売上減少が大きく、当第1四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比7.6%減少の1,426百万円となりました。経費面では、原価管理の徹底や経費の節減などの継続的なコスト管理を徹底するとともに、新本館開業に向けた建替関連経費の適切な管理を行うなど、攻守両面の機能を充実させてまいりました。これらが奏功して営業損失は前年同四半期に対して縮小し、283百万円(前年同四半期は308百万円の営業損失)となりました。経常損失は266百万円(前年同四半期は295百万円の経常損失)、四半期純損失は282百万円(前年同四半期は303百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末比90百万円(0.9%)減少して、10,506百万円となりました。

流動資産は同710百万円(28.7%)減少の1,760百万円、固定資産は同620百万円(7.6%)増加の8,745百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が408百万円、有価証券が399百万円減少したことなどです。固定資産のうち有形固定資産は、478百万円増加の5,390百万円となり、これは建設仮勘定が511百万円増加し、減価償却の実施により41百万円減少したことなどによります。投資その他の資産は、141百万円増加の3,352百万円となり、その主な要因は、投資有価証券が216百万円増加し、繰延税金資産が74百万円減少したことなどです。

負債合計は、前事業年度末比75百万円(2.2%)増加して3,471百万円となりました。

流動負債は同96百万円(9.4%)増加の1,123百万円、固定負債は同21百万円(0.9%)減少の2,347百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、未払金が137百万円増加し、未払法人税等が48百万円、賞与引当金が33百万円減少したことなどです。

純資産合計は、前事業年度末比166百万円(2.3%)減少して7,034百万円となりました。その要因は、配当の支払いを行い、四半期純損失を計上したことなどです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績につきましては、平成29年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はございません。今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,452,008	1,043,035
売掛金	373,352	431,538
有価証券	399,923	-
商品及び製品	16,027	24,957
仕掛品	9,607	9,284
原材料及び貯蔵品	70,207	73,517
その他	150,271	178,721
貸倒引当金	349	337
流動資産合計	2,471,048	1,760,717
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	338,503	317,843
機械装置及び運搬具(純額)	75,744	76,114
工具、器具及び備品(純額)	203,260	192,259
土地	2,744,219	2,743,095
建設仮勘定	1,549,805	2,061,013
有形固定資産合計	4,911,533	5,390,325
無形固定資産		
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	3,009	3,009
投資その他の資産		
投資有価証券	1,626,062	1,842,511
繰延税金資産	377,244	302,836
その他	1,207,796	1,206,986
投資その他の資産合計	3,211,103	3,352,333
固定資産合計	8,125,646	8,745,668
資産合計	10,596,694	10,506,386

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,979	164,548
短期借入金	380,000	380,000
未払金	228,659	366,647
未払法人税等	65,742	17,261
賞与引当金	76,200	43,050
その他	128,366	152,317
流動負債合計	1,026,947	1,123,824
固定負債		
退職給付引当金	1,897,929	1,868,027
資産除去債務	74,768	74,996
その他	396,376	404,876
固定負債合計	2,369,074	2,347,900
負債合計	3,396,022	3,471,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	2,883,140	2,883,140
利益剰余金	477,018	161,162
自己株式	438,639	438,904
株主資本合計	6,621,530	6,305,409
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	579,141	729,251
評価・換算差額等合計	579,141	729,251
純資産合計	7,200,672	7,034,661
負債純資産合計	10,596,694	10,506,386

(2) 四半期損益計算書

第 1 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
売上高	1,543,305	1,426,110
売上原価	1,380,247	1,286,477
売上総利益	163,058	139,632
販売費及び一般管理費	471,682	423,212
営業損失 ()	308,623	283,579
営業外収益		
受取利息	152	102
受取配当金	13,785	17,576
その他	1,531	1,830
営業外収益合計	15,469	19,508
営業外費用		
支払利息	1,365	1,316
コミットメントフィー	687	693
営業外費用合計	2,053	2,009
経常損失 ()	295,207	266,080
特別損失		
固定資産売却損	-	4,795
特別損失合計	-	4,795
税引前四半期純損失 ()	295,207	270,876
法人税、住民税及び事業税	3,302	3,405
法人税等調整額	5,216	8,158
法人税等合計	8,519	11,563
四半期純損失 ()	303,727	282,439

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第 1 四半期累計期間 (自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 6 月 30 日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第 1 四半期累計期間 (自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 6 月 30 日)

該当事項はありません。